

Fukiage Hall 60th Anniversary Since 1966

～地域に根差して60年～

# 吹上ホール今昔ものがたり

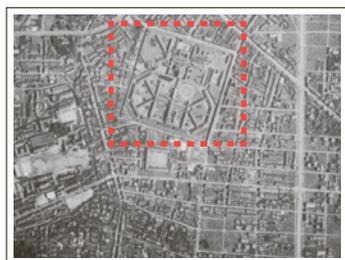


旧吹上ホールと附属館

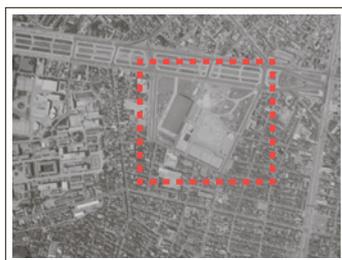


現名古屋市中心企業振興会館

## ◆空から見る吹上ホールの移り変わり◆



昭和初期(年代不明)



1969年(昭和44年)頃



現在

出典：国土地理院ウェブサイト (<https://service.gsi.go.jp/map-photos/>)  
空中写真を加工して作成

## ◆こぼればなし◆ ～吹上ホールの名前の由来～

吹上ホールの名称は所在地(名古屋市千種区吹上)からつけられました。

「吹上(ふきあげ)」の地名の由来は

古矢田川層の上にてきた村落で、昔はこの辺りまで入海だったため、真砂が風で吹き上げた所といわれています。  
風を受けやすい地形に多い地名です。

出典：名古屋市ウェブサイト  
千種区の町名の由来(千種区史)より



# 吹上ホール建設構想～開館

(1960年～1980年)

西暦(和暦)

出来事

時代背景

1961年3月  
(昭和36年)

## 名古屋刑務所の三好町(現みよし市)への移転協定成立

名古屋刑務所(旧名古屋監獄署)は、明治31年に竪三蔵町(現名古屋市中区栄付近)から吹上(当時は愛知郡千種村馬走)に移転してきました。  
戦後、復興の目玉であった100m道路(若宮大通)を整備するため同刑務所を移転させる必要が生じ、守山区本地ヶ原や春日井市が候補にあがります。しかし、地元の理解が得られず、紆余曲折の末、受刑者の実習農場があった三好町に移転が決定しました。  
これにより、若宮大通が開通し、吹上公園の整備が進みました。

1960.9  
カラーテレビ放送開始

1961.4  
ガガーリンが世界初の  
有人宇宙飛行成功

1964.10  
東京オリンピック開催  
東海道新幹線開業

1966.3  
日本の総人口が1億人を突破

1967.4  
(公財)名古屋産業振興公社の  
前身(財)名古屋市見本市協会が  
吹上ホールの管理を開始

1968.4  
日本初の超高層ビル  
「霞が関ビルディング」完成

1969.2  
名古屋市の人口が200万人を突破

1969.4  
東名高速道路が全区間開通

1969.6  
日本のGDPが世界第2位に

1969.7  
アポロ11号が人類初の月面着陸成功

1969.11  
中区栄に「サカエチカ」オープン

1970.3～9  
大阪万博開催  
6422万人が来場

1972.2  
札幌オリンピック開催

1972.5  
沖縄返還

1973.11  
名古屋市国際展示場  
(ポートメッセなごや)  
1号館開館



1973.12～1975.3  
第1次オイルショック

1974.3  
名古屋市電を全廃

1978.5  
新東京国際空港  
(現在の成田国際空港)開港

1979.1  
第2次オイルショック

1979.7  
名古屋高速道路開通  
(高辻-大高)

1966年4月  
(昭和41年)

## 吹上ホール建設着工



吹上ホール建設現場

9月

## 吹上ホール完成



吹上ホール正面

10月

## 吹上ホール開館

(展示面積5,940㎡)

1969年4月  
(昭和44年)

## 附属館建設着工



附属館正面

10月

## 附属館完成・開館

(展示面積1,080㎡)

いざなぎ景気

(1965.11～1970.7)と  
呼ばれる高度経済成長期のもと、吹上ホールは順調に利用を伸ばしていきます。特に附属館完成後は大規模見本市や展示会が多く開催され、関東や関西にも吹上ホールの名が広く浸透しました。

昭和スポーツセンターが建てられる前は屋外に市営プールがありました



商談室(食堂)  
管理事務所



正面駐車場



吹上ホール内部



倉庫と車置場



西側駐車場



附属館内部

### 【この時代の主な催事】

- 「全国優良機械展」(第13回～27回)
- 「中華人民共和国経済貿易展」
- 「全国公害防止機器展」(第1～8回)
- 「オートショー」
- 「五大都市体育大会(バレーボール)」
- 「郷土の伝統産業展」(第1回～5回)



【吹上ホールこけら落し催事】  
第13回全国優良機械展  
(1966/10/8～10/17)



中華人民共和国経済貿易展(中国展)  
期間中(1966/11/16～12/11)約217万人が来場



オートショー



五大都市体育大会



郷土の伝統産業展

# 中小企業振興会館建設～開館

(1981年～2000年)

西暦(和暦)

出来事

時代背景

～このころ～

第1次オイルショック後、日本経済は長い不況のトンネルに入ります。また、発展途上国との競争も激しくなり、名古屋市の中小企業を取り巻く環境も厳しくなってきました。そこで、名古屋市は資金面の援助や経営指導、情報提供など、**中小企業を総合的に支援するための施設として「名古屋市中企業振興会館」**の建設を計画します。当初、建設候補地として、「吹上ホール敷地内」、「泥江地区」(中村区)、「栄交差点角地」、「沢上地区」(熱田区)があげられましたが、吹上ホールが老朽化してきたことやファッション性の高い展示場建設の要望が高まってきたことから吹上ホールと附属館の建て替えも含めた建設計画となりました。

1980年12月  
(昭和55年)

名古屋市中企業振興会館 建設着工



旧吹上ホール撤去工事の様子

1981年8月  
(昭和56年)

ホール南部分完成



ホール北部分建設工事の様子

工事中も催事を開催できるよう、吹上ホールの建て替えは半分ずつ行いました。

1982年7月  
(昭和57年)

ホール北部分完成



完成したホール部分と建設中の会館部分(ホール左側)

1983年9月  
(昭和58年)

名古屋市中企業振興会館 完成

10月

名古屋市中企業振興会館 開館



設計 株式会社黒川紀章 都市設計事務  
敷地面積：28,172㎡  
延床面積：24,536㎡  
地下1階地上9階建



吹上ホール



第1ファッション展示場



第2ファッション展示場



メインホール



展望ホール



エントランスホール



正面玄関



コリドール(回廊)



東側庭園

1995年5月  
(平成7年)

吹上地下駐車場(200台)完成

1996年4月  
(平成8年)

中央帯(東)駐車場(90台)完成

1997年4月  
(平成9年)

中央帯(西)駐車場(90台)完成

【この時代の主な催事】

「全国優良機械展」(第28回～33回)

「ニューオフィスフェア名古屋」(1988年)

「中部21情報フェア」(1990～1992年)

「輸入品展なごや」(1990～1993年)

「ワールド・インポート・メッセ・なごや」(1994～1995年)

若宮大通の中央部分は当初、緑地帯でした。



その後臨時駐車場として利用され、

駐車場、高速道路が整備されます



地下・中央帯駐車場、高速道路建設工事の様子

1982.3  
名古屋市バス  
基幹バス(ミッキー)  
運航開始



1984.9  
名古屋城博開催  
金シャチ地上へ

1985.4  
日本電信電話公社と  
日本専売公社が民営化

1987.4  
日本国有鉄道(国鉄)が  
分割民営化

1987.9  
名古屋市国際展示場  
(ポートメッセなごや)  
2号館・イベント館開館



1989.1  
昭和天皇崩御、  
皇太子明仁親王が第125代天皇に即位  
元号が平成に

1989.7-11  
世界デザイン博覧会開催  
1518万人が来場

1989.10  
名古屋市制100周年

1989.11  
ベルリンの壁崩壊

1992.3  
東海道新幹線に「のぞみ」  
がデビュー

1993.5  
日本プロサッカーリーグ  
(Jリーグ)開幕

1993.9  
名古屋市国際展示場  
(ポートメッセなごや)  
3号館・交流センター開館



1994.3  
地下鉄吹上駅開業

1995.1  
阪神・淡路大震災発生

1995.3  
地下鉄サリン事件

1996.2  
(財)名古屋市見本市協会を母体  
として(財)名古屋都市産業振興  
公社を設立

1996.11  
ナディアパーク完成  
デザインホール開館



1998.2  
長野オリンピック開催

1998.3  
名港トリトン開通

# 新たな価値を生み出す施設へ

(2001年～)

西暦(和暦)

出来事

時代背景

2006年4月  
(平成18年)

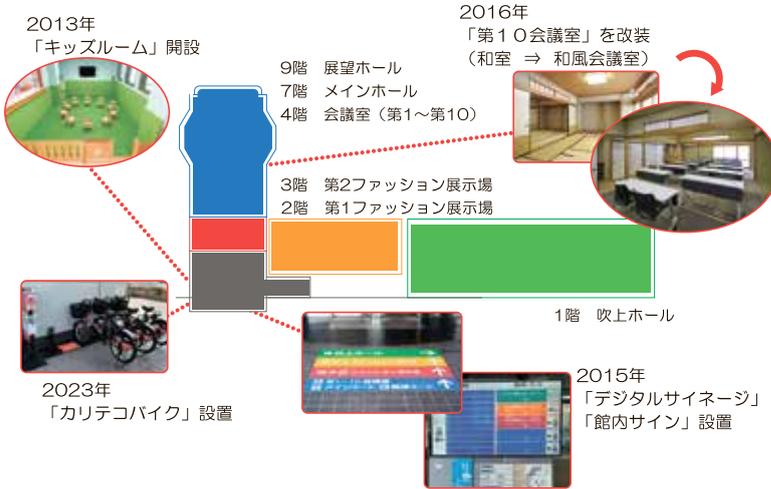
## 名古屋市中小企業振興会館に指定管理者制度導入

以降、名古屋産業振興公社が指定管理者として選定されています。

### ～指定管理者制度とは～

これまで、中小企業振興会館(吹上ホール)のような公の施設は、行政の指示に従って運営する「管理委託方式」で運営されていました。2006年に導入された指定管理者制度は、民間的なノウハウを活かし、より効率的で質の高い運営を行うことを目的とした仕組みです。この制度の導入により、施設使用料やサービスの内容を管理者が自ら工夫できるようになり、利用者サービスの向上が進みました。

## <名古屋産業振興公社が導入した利用者サービスの一例>



## <名古屋産業振興公社が実施した自主事業の一例>

夏休み映画上映会	吹上酒蔵まつり	公社主催展示会優待出展
 <p>近隣小学生とご家族を対象に開催 地域に根差した人気イベントです</p>	 <p>地域の食文化の発展と飲食産業の 振興を目的としたイベントを開催</p>	 <p>公社の賛助員企業などを対象に 主催展示会への優待出展を実施</p>

2023年4月  
(令和5年)

名古屋産業振興公社、コンベンションリンクエージ、名鉄ビルサービスの3社新体制(中小企業振興会館マネジメントグループ)で中小企業振興会館の指定管理者に選定

2026年3月  
(令和8年)

2006年の指定管理者制度導入以降、過去最高となる利用率を達成!

2026年10月  
(令和8年)

開館60周年を迎える



新型コロナウイルス感染症の感染拡大により減少した「見本市・展示会」が再開し、人々の交流が戻ってきました。皆さまに愛される施設であり続けられるよう、これからも進化を続けてまいります。今後も吹上ホールにどうぞご期待ください!!

2002.5～6  
FIFAワールドカップ・  
日韓大会が開催

2002.10  
米にオアシス21  
オープン



2005.2  
常滑沖にセントレア開港

2005.3～9  
愛知万博開催  
2,205万人が来場

2010.9  
(財)名古屋都市産業振興公社と  
名古屋市工業技術振興協会が合併し、  
(財)名古屋産業振興公社へ

2010  
名古屋開府400年

2011.3  
東日本大震災発生

2012.4  
公益財団法人名古屋産業振興公社  
へ移行

2012.5  
東京スカイツリー開業

2018.5  
名古屋城本丸御殿復元工事完了(完成)  
(6月8日～全面公開)



2019.5  
「令和」へ元号改元

2019.9～11  
ラグビーワールドカップ2019  
開催(アジア初開催)

2020.1～  
新型コロナウイルス感染拡大により  
4/13～5/31まで休館  
緊急事態宣言が発令され、見本市・  
展示会の開催が大幅に減少

2021.7～8  
東京2020オリンピック  
東京2020パラリンピック開催

2024.1  
能登半島地震発生

2025.4～10  
大阪・関西万博開催  
2,558万人が来場

2026.9～10  
第20回アジア競技大会  
第5回アジアパラ競技大会  
(2026愛知・名古屋)開催